

2022 年夏季リジャイナ大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

私は5つクラスがある中の1番レベルの低いクラスでした。なので、担任の先生はゆっくり英語を話してくれて、教科書の内容も少し簡単すぎるのではないかとような内容でした。

ディスカッションが8割、残りの2割でリーディング、リスニング、発音、イディオムなど。午前中3時間、午後2時間。

海外での生活で役立つものを多く学びました。実践的に使えることが多かったです。発言できる回数も多く、スピーキング、ライティングが中心の授業です。

授業は、教科書やワークシートを使用したディスカッションが主で、カナダの文化や、日本との違いについての話題が多かったです。

午前中の3時間で教科書の内容を進めて、午後の2時間でカナダの国についてやちょっとしたアクティビティを行いました。午前中の授業はペアワークを通して活動することが多かったです。

授業の形態は午前中15分間の休憩を含む3時間と午後10分間の休憩を含む2時間の授業でした。授業の進め方は、まずはミニゲームをし、午前中は文法の授業中心でした。午後はカナダの文化について学ぶことが多かったです。授業全体を通して習った文法や調べた文化の内容などペアワークとして英語で会話する機会がありました。

主にペアワークやグループワークが多く、日本人同士であってもみんな自分から進んで英語で会話していた。教科書を使い、文法、発音、リスニング、リーディングなどを学んだ。教科書のレッスンごとに小テストがあった。

授業はプレテストでの英語レベルに5つのクラスに別れていました。8:30~11:30までが午前中の授業で、午前中は教科書をしていました。ペアワークをして英語での会話を大事にしている授業内容だったので、クラスメイトとすぐに打ち解けることができました。1時間ごとの10分の休憩をはさみ、クラスごとに休み時間は異なっていました。午後は、カナダの文化を学び、小さなプレゼンをグループで行うことが多くありました。週に1度、プレゼンテーションがあるためそれに向けての準備も午後に先生が用意してくれました。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラス人数は18人ほどで、全員日本人でした。

クラス人数17人、全員日本人、関西外大生は私のみで他のクラスメイトは東京外大、千葉大学、都留大学の学生。

日本人20人くらい

クラス数は5クラスで、プログラム内89名中1人だけメキシコからの留学生で、その他はすべて日本人学生でした。

クラスは1クラス20人ほどで、1人はスペイン出身でしたが、残りの留学生は日本人でした。

私のクラスは17人でした。すべて日本の学生でした。

クラス人数は20人で、日本人は19人でメキシコ人が1人いた。

クラスの人数は20人、日本人19人とメキシコ人1人

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本の大学で授業している感じと同じでした。

とても良い雰囲気の中学ぶことができました。どんなに拙い英語でも、クラスメイトは一生懸命に私の意見を聞いてくれて、時には英語での言い方を助けてくれた。ディスカッションがほとんどだったので、必ず喋らなければいけないし、日本でここまで話すことがメインの授業はありませんでした。正しい文法でなくても、英語で話す勇気と自信を得ることができた。

日本より発言しやすい環境です。間違えても先生が修正してくれました。

日本人のみのクラスでしたが、率先した発言が多く、みんな積極的に授業に取り組んでいました。

日本の授業とは違って発言する場や発表の場が多かったです。言葉に詰まってもクラスメイトが手助けしてくれ、とても温かい雰囲気でした。

日本人だけでしたが、他の大学の学生ばかりなので恥ずかしがらずに英語を話すことができる環境があると思いました。また、先生とは距離が近くなんでも意見を言えるような環境でした。

机の配置がコの字になっており、毎回席がランダムに変わるため、クラス全員と仲良くなれるし、机の上に名前プレートがあるため名前と顔をすぐに覚えることができました。クラスメイト全員優しく親しみやすく、わからないことはすぐに教えてくれて優しい子ばかりだった。

私のクラスではクラスメイト同士がとても仲が良く誰とでも気軽に話すことができました。授業中はペアワークやグループワークが多いので自然とみんなとコミュニケーションを取っていました。日本の授業は先生の話聞くことが大切で先生中心に授業が進みますが、私のクラスでは先生が学生たちに何を学びたいかを聞いてくれ、私たち中心で授業内容を決めていました。私たちのことを尊重した授業だったので発言もしやすく、分からない事も聞きやすかったです。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

カナダの先住民についての授業がとても印象的で面白かったです。

クラスメイト 17 人が 4 つのグループに分けられて、自分が持ってきたトピックについてディスカッションをする、そのディスカッションをリードするという試験があった。私のグループの一人の子が、日本の若者はお金(税金や投資)、政治(政党や選挙)について知る機会が中高でないため、無関心になってしまっているというトピックを持ってきた。その中で、もし中高の時間割にお金と政治についての授業を加えらると、どの教科を抜いてもいいかという話題になった。何人かは数学だと答え、何人かは国語だと答えた。今まで考えたことないことだったので、新しい学びになり、面白かった。

カナダと日本の違いについての授業が 1 番印象に残っています。カナダについて今までより知ることができただけでなく、みんなの前で日本についてペアになって紹介した時に自分の国の文化や歴史について知らなかったことが多くて、もっと自国の知識を深めて発信できることが大事だと思うことができました。

tipi, first nation

カナダの州や文化についての内容や、カナダに関するプレゼンテーションが三度あり、興味深いものばかりだった。

カナダの 10 個の州を初めて知りました。みんなで暗記してどこにあるかを当てるゲームをしたことが、とても印象に残っています。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

分からないことは積極的に担任の先生に聞くようにしていました。先生もとても親切に教えてくれました。

文法が間違ってしまうけれども、発言した。一生懸命に伝え続け、休み時間などのちょっとした会話も英語で質問した。

普段日本の授業では全く発言をしないのでせっかく海外に来たので積極的に発言しようと努力しました。

クラス内でもコミュニケーションを中心に活動していたので、自分から積極的に声をかけることを心掛けました。また、分からないことがあればすぐに先生に聞くようにしていました。

先生からも指示がありましたが、ペアワークがあるので毎回同じ人の隣に座ってしまうと偏った学びになってしまうのでいろいろな人とペアになれるように意識していました。

日本人同士であっても、英語で会話していた。メモを取る時も英語で書いていた。

別々の大学から来た学生同士ばかりで学年もバラバラだったので、全員とコミュニケーションをたくさん取ることを心掛けました。授業中は日本人同士でも英語で会話をするのも意識し、英語で伝える努力をしました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人	
3人	日本
4人	日本

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩	0-15分	大学内のカフェテリア

部屋に用意してあったものは何ですか。

冷蔵庫、クローゼット、電子レンジ、ハンガー、シャンプー、リンス、石鹸、タオル

各個人部屋の中にはベッド、勉強机、椅子、服が干せる竿とハンガーが数本。共同スペースとして、トイレシャワー洗面台がセットのスペースが二つ、コンロ付きキッチン、電子レンジ、ダイニングテーブル、冷蔵庫冷凍庫、ソファ2台。

トイレトーパー

シーツ、枕、掛け布団、ソファ、机、椅子、タンス、ハンガー(3つ)、バスタオル、バスマット、冷蔵庫

バスタオル、小さい容器のシャンプー、リンス、ボディソープ、トイレトーパー

ハンガー、冷蔵庫、電子レンジ、ベッド、椅子、テーブル、ブランケット、プラスチックのコップ、タオル、トイレ、シャワー、洗面台

バスタオル2枚、フェイスタオル1枚、机、椅子、ベッド、ブランケット、まくら、トイレトーパー、冷蔵庫、キッチン、旅行用サイズの小さいシャンプー
コンディショナーボディソープ、プラスチックのコップ2個

ベッド、一人掛けのソファ、冷蔵庫、電子レンジ、勉強机、いす、洋服をかける場所、ハンガー、洗面所、トイレ、バスタブ付きのお風呂、洋服棚、デスク
ライト、バスタオル1枚、シーツ、枕、枕カバー、バスマット、洗面用タオル1枚、トイレトーパー2つ、ごみ箱、洗面用のコップ2つ、石鹸

自分で用意したものは何ですか。

ドライヤー、ヘアアイロン、スリッパ

ジェルボールや追加のハンガーは日本から持ってきていた。フォーク、スプーン、スリッパ、ペットボトルの水は現地で購入した。

トイレトペーパー以外

ドライヤー、ヘアアイロン、充電器、ハンガー、洗濯物干し用ロープ、洗剤(シャンプー、ボディソープ、洗濯用洗剤)、ハンディ掃除機

歯磨き、洗顔、シャンプー、リンス、ボディソープ、ドライヤー

ドライヤー、シャンプー類、ティッシュ、スリッパ、洗濯用洗剤

シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔料、メイク落とし、スキンケアセット、ドライヤー、ヘアアイロン、ヘアブラシ、歯ブラシ、歯磨き粉、タオル、パジャマ、箱ティッシュ

延長コード、シャンプー、ボディソープ、洗顔フォーム、洗面用具、箱ティッシュ、歯ブラシ、歯磨き粉、スリッパ、洗濯用洗剤、ドライヤー

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

特にありません。ホテルに滞在するような感じでした。靴を脱がない文化の違いから、スリッパが必須でした。

シャワーヘッドが固定だったため、洗いに良かった。日差しがとても強い。

土足で部屋に入ること、ベッドの高さが高いこと、部屋の電気が少ないため夜は部屋が薄暗いこと

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

延長コードを持っていくといいと思います。あと、スリッパは絶対持っていくべきです。

夏だけど、湿気の多い日本とは異なりとても寒かったです。冬服をたくさん持ってくるべきだったと後悔し、現地で冬服を購入することになりました。ヒートテックや裏起毛必須です。

洗濯物は洗濯と乾燥に時間がかかるので、時間が空けばすぐ回すのがいいと思います。時間帯によって洗濯機が埋まって使えないことがあることと、夜中に回すと迷惑になるので気を付けた方がいいと思います。

私は部屋に戻ったら靴を脱ぎたかったのでスリッパは持って行った方がいいと思います。

朝屋晩で寒暖差が激しいため、トレーナーと半袖のTシャツなどどちらもあったほうがいい。(羽織れるものもいいと思う。)

部屋の臭いが気になる人が数人いたため、芳香剤や消臭剤を持っていくこと。土足で部屋に入らなければならないので、ゴム製の室内用のスリッパを持っていくべき。布製はごみがついてしまうので汚くなる。クロックスのようなゴム製がいいと感じた。部屋は乾燥していたりエアコンが効きすぎて寒いことがあるので、羽織れる洋服やボディクリームがあると女性は役立つ。コンセントの位置が自分の使いたい位置に無いことが多いので長めの(3mくらい)の延長コードが1つでもあると便利。

パソコンは 持参しましたか	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	ワイヤレスで可能	いいえ

携帯電話は 持参しましたか	利用方法
はい	日本から SIM カードを持参
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。

向こうの大学のボランティアの人が農場、ショッピングセンター、美術館などいろんな所に連れて行ってくれました。また、放課後は、スポーツやカードゲームをして充実した時間を過ごせました。

授業終わってから晩御飯まで二時間ほど空いているので、スーパーに行ったり、洗濯したり、課題したり、ジムに行ったりしていました。土日は基本、スケジュールがありますが、一日だけ何も無い日があって、近くの映画館で映画を観て、スタバでコーヒー買って、アイスクリーム屋さんでアイスクリーム食べて、散歩しました。プログラムに含まれているスケジュールでは、地元のファームや博物館、美術館に行きました。

大学主催のアクティビティ、買い物、

大学の寮長主催のイベントがほぼ毎日ありました。カードゲームをしたり、スポーツをしたり、映画を観たりしました。

CA という現地の生徒さんたちが主催のゲームやナイトムービーに参加したり、農場や美術館などにも連れて行ってもらいました。

movie night, sports, farm や market などへの観光

19:00~21:00 にアクティビティがあった。ナイトムービーやパレーなどのスポーツをしたりする活動があったが、自由参加だったため疲れていた日やあまり行きたくないアクティビティは行かずに、外へ出かけていた。土日に現地の大学生と一緒に美術館やファーム、博物館などに行った。

授業が 15 時に終わり 17 時の夜ご飯までは、スーパーに買い物に行ったり課題をしたりしていました。19 時~21 時まででは週 3 日くらいで現地の大学生たちが企画したアクティビティがあったので友達と参加しました。映画を観たり、ゲームをしたり、スポーツをしたり、文化を学んだりと日によって異なります。土日はプログラムにアクティビティが入っていたのでミュージアムやサイエンスセンターに行ったりトリジャイナの観光地を留学生全員でバスで回りました。

学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など

大学から徒歩30分のところにあるスーパーをよく利用しました。そこでお土産をたくさん買いました。また、大学からバスで15分ほどにあるショッピングセンターにもよく行きました。そこでもお土産を買いました。

三日に一回のペースでスーパーマーケットに、一週間に一回カフェに行きました。

ジム、プール

Wascana Park, Wascana Lake, Corn Wall Centre, Real Canadian Supermarket, Southland Mall

近くのスーパーやカフェに行ったり、ダウンタウンまで行ってお買い物したりしました。

cafe, surperstore

寝不足で疲れもとても溜まっていたため、授業が終わってから寮の部屋に戻って昼寝をすることが多かった。課題があるときは、カフェテリアなどで友人と一緒に課題をしたり、大学から徒歩 10 分のところにマクドナルドやおしゃれなカフェがあるので、そこで課題をするのもいいと思う。また、洗濯に行くときに、洗濯に 30 分、乾燥機で 1 時間ほど時間があるので、待っている間にテレビを見たり課題をしたりしていた。

学内では、共有スペースで友達と課題をしたり映画を観たりした。学校付近のカフェで課題をしたこともあります。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

リスニング力をあげるために TOEIC のリスニング問題を何度も解いたり、暇な時間には洋画を観たりしました。

洋画をたくさん見た。必要なものは早めに買いに行った。

日常英語の勉強

留学前にしておけばよかったと思う準備

日常会話で使いそうな単語、文を勉強していくべきだった。

ある程度の日常会話。レストランでも注文の仕方とレストランのお会計の仕方、チップの払い方。

単語の勉強

私は英語で話して失敗することに恐れを持っていて、初めて外出するときにとっても緊張してうまく話せなかったことがあったので、外出の時に使える英語などの知識を入れておくとよかったと思いました。

単語の勉強、リスニングの練習

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

お味噌汁を持っていき、向こうの友達に配りました。喜んでくれました。

ハンガー。部屋に用意されていたハンガーだけでは足りなかったので、持ってきていて良かったと感じた。

お味噌汁

折り紙

箱ティッシュ、生理用品、胃薬、羽織れるもの、帽子、サンダル、エコバッグ、トートバッグとリュック、洗濯用ネット

延長コード、箱ティッシュ、除菌用ウエットティッシュ、肌寒いとき用の服、サングラス、マスク

日本から持っていく必要のなかったもの

ハンガー、バスタオル

バスタオル。何枚も持ってきていたが、用意されてり、週に一度交換してくれるので、何枚も持ってくる必要なかったと思った。

学校にプールがあるみたいなので水着をもって行ったのですが、私は利用しなかったもので持っていなくてもよかったと思います。

ハンカチ、バスタオル(一枚で十分だった)

シャンプー、ボディソープ、洗濯用洗剤は種類にこだわりが無ければスーパーで買うことができる。

日本から持参すればよかったと思ったもの

お土産を入れるような靴

スリッパ、冬服、

スリッパを持っていくのを忘れて最初はなくても大丈夫だと思っていたのですが、あったほうが快適だし、やはり土足で部屋に入ることがどうしても気になってしまったので持っていけばよかったなと思いました。

お米や味噌汁などの日本食、スリッパ、水筒、ポストンバッグ、圧縮袋

カナダは水がジュース、炭酸水しかないで、日本人の好きなお茶が飲めないためお茶のパックがあればお茶を飲みたい人はカナダでも飲むことができます。私はカナダのスーパーで、おいしいお茶のパックを見つけ買いました。少し高いです。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。

現金とクレジットカード

クレジットカードと現金三万円分。

クレジットカード、現金

クレジットカード2枚、プリペイドカード、現金

クレジットカード 現金は持って行ったが使う機会はなかった。私が行って現金しか使うことができなかったのはプールのロッカー。

クレジットカード2枚と、現金

現金は85ドルほど両替をしました。しかし基本的にカード払いをすることが多かったです。カードはマスターカードです。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

住居費も食費もプログラム費に含まれていたため、追加で払ったのは個人で食べたカフェ代など。

留学費に含まれていたため基本的に現地で支払ってないですが、外食費で1万ほどでした。

住居費と食費はプログラム費に含まれていた。早くに現地の大学に到着したためプログラムが始まるまでの約2日間ご飯がでなかったときの食費のみ現地で自分たちで払った。

食費はほとんどカフェテリアだったためお金は使っていないが、たまに外食をしたので3万円ほど使ったと思う。

食費は約2万円

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

キャンパス内の寮に滞在していたため、通学費はかかっていない。テキスト代はプログラム費に含まれていた。

テキスト代もプログラム費に含まれていた。通学費は大学内の寮に住んでいたためかかっていない。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

10万円使いました。

寒くて冬服などを現地で購入した。五万も使ってはいないと思う。

7ドル:現地在想像より寒かったため服を買いました。/日本円で5万くらい:お土産、現地の店で食べたもの

お土産代に2万、外食に1万、交通費に5千円程でした。

PCR検査に約3万円、お土産やアイスクリーム、コーヒーなどに6万円ぐらい

買い物に約8万円ほど使った。

買い物で約8万

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

毎日、英語で日記を書いていたので、英語の文章能力を上げることができました。また、積極的に現地の人に話しかけることを心がけていたので、コミュニケーション能力も上がったと思います。

コミュニケーションはもともと、不得意ではないが、とても得意でもなかった。しかし、一秒でも無駄にしたいくないと意気込んでいたこともあり、日本人、店員さん、先生、関わってくれた人に積極的に話しかけた。

コミュニケーション能力が上がった

元々コミュニケーションをとるのは苦手な方ですが、現地の方々はすごく話しかけてくれたので、自然とコミュニケーションをとることができました。授業の中で発言するときに、先生がこう言った方がいいよなどのアドバイスをくれたりするので、語学力は上がったのではないかと思います。

コミュニケーション能力においては日本にいる時は自ら英語を話す機会がないので、英語を話す機会を持ったことで確実に上がったと思う。その機会を無駄にせず間違いを恐れず話せて伝わったときに成長を感じた。

リスニング力は少しずつついていき、だんだん聞き取れるようになった。しかし、スピーキングはすぐに英語が出てこず簡単な英語で話したりした。

コミュニケーション能力はとても上がったと感じています。日本では内気な性格で話しかけられるのを待つ側でしたが、留学中たくさんの人と話すことがとても楽しく、自分からたくさんの人に話しかけ友達もたくさんできました。

留学前の目標とその達成度

全体的に語学力を少しでも上がることを目標としていました。あまり大きくは一ヶ月では変わりませんでしたが、明らかに少しは上がっていると感じます。

英語を勉強するモチベーションを失ってしまい、環境を変えて自分を変えたいと思ったことがこの夏季語学留学に申し込んだ理由です。一円も親に借りず、自分で高校生の時から貯めたお金でこの夏季語学留学に行ったので、絶対に何かを得たい、無駄にしたいくないと思っていた。モチベーションを取り戻すことと、メンタルヘルスを向上させることが目標だった。結果、想像を上回るほど、言葉には表せないほどの経験ができ、関わってくれた全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。

留学前は、英語で会話することを楽しむということを目指していました。達成度は50%で、やはり英語で話す時にまだ緊張してしまっていて、英語力がまだまだだということを痛感しました。それでも、留学中は間違っていないから話してみるということを中心に掛けていたし、恐れないことが大事だと実感しました。

留学前の目標は自ら英語を話す機会を持つことでしたが、現地の留学生をサポートしてくれる学生と仲良くなり、空港で問題が起きたときなど積極的に英語を話すことができました。しかし、留学が始まって最初の1週間は今振り返るとなかなか自ら行動はできていなかったと思うので8割ぐらいは満足しています。

多文化に触れ、日本では経験できないことが経験でき、日本とは異なる環境で生活し自分たちで生活する大変さに気づくことができた。自分の身の回りにいる人たちに感謝しなければとあらためて気づかされた。

現地の人と自分の言葉で話すことや現地の生活と日本の生活の違いを肌で感じたいと思っていました。実際留学をし、その目標は達成することができました。現地の大学生と話すことが多く、最後には名前を覚えてもらえ別れを悲しんでくれました。日本での生活の違いも感じる事ができ、改めて日本の素晴らしさを感じる事や現地で生活もいろいろな方法で楽しむことができました。

留学を通しての成長ポイント

リスニング能力を身につけることができました。留学に行く前は、なんて言っているか全く分かりませんでした。この留学を通して、結構英語が聞き取れるようになりました。また、英語のみの映画も見ることができるようになりました。

人に話しかけること、人前で英語を話す勇気、自分の英語力の自信、何事もなんとかなるとポジティブに考えることができるようになった。

コミュニケーション能力の向上、生活力の向上

元々緊張しやすく人前で話すことが苦手だったけれど、プレゼンテーションやグループでの発表など人前に立つ機会が多かったので結構成長できたと思います。英語でのプレゼンテーションはあまりしてこなかったのでみんなに伝わりやすいように文章を考えることができました。

問題を解決する力が身についたと思う。空港でのチェックイン機でのトラブル、バス乗り場が臨時で変わっていた時など自分たちで対処することができた。

自分一人で何かをすることで、日本に帰ってからも身の回りのことは一人でやるようになった。日本に帰ってから海外の映画を見に行った時、リスニング力が上がり以前より英語がとでも聞き取れるようになっていた。

私はリスニング力が向上したと感じています。リジャイナに来た当初は現地の人のお話スピードについていけず分からない英語もたくさんありました。しかし、3週間リジャイナで英語を聞き話す日々を過ごし、現地の人がお話しているのかを理解できるようになり会話も弾むことが多くなりました。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

この留学を機に、もっと英語を学びたいと強く思うようになりました。現地で新しくできた友達ともっと話せるように、英語を話す練習をしようと思いました。英語に対するモチベーションがとでも上がりました。

モチベーションは留学に行く前と比べて確実に上がりました。私自身コロナウイルスのパンデミックが始まった2020年の春に関西外大に入学し、初めはここまで長引くと思っていなかったため、海外旅行に行く夢を抱きながら語学の勉強に一生懸命だった。しかし段々と何のために英語を勉強しているのか分からなくなってしまい、好きだった英語も嫌々仕方なく勉強するようになってしまった。そんな自分と環境を変えたく、このプログラムに申し込んだ。久しぶりの海外、レベルの高いクラスメイトに囲まれ、皆無だったモチベーションを取り戻すことができた。今また、一生懸命に勉強している。

日本でも積極的に発言しようと思えました。

留学前は、ずっと留学することが1つの夢でもあったので授業が終わってからも学校に残ってTOEICなどの英語勉強をすることで、モチベーションはすごく高かったです。留学初日は、思った通りに英語を話すことや聞き取ることができず落ち込みましたが、クラスメイトと切磋琢磨して学習できる環境だったので頑張れました。留学後の今も英語を使ってもっと意思疎通できるように頑張りたいと思っています。

留学前は留学に行ったら英語が上達するのではないかと安易な気持ちを持っていました。しかし、カフェでの一つの注文を取っても言い回しによって店員さんの表情や態度の違いがあるように感じられ、場面に応じたちゃんとした英語を学びたいという気持ちに変わった。留学後は、自ら問題解決に挑むときは英語を考えてから話すことができるが、何気ない日常会話に適切に返答したり、ナチュラルな会話を続けられたりするような語彙力を増やしたいという気持ちに変わった。

留学前は、英語は話せないしすべて自分たちでないといけない、と考えていてあまり楽しみではなく不安のほうが大きかった。留学中は、すべてが新鮮で英語を話す楽しさや新しい環境での生活にワクワクしていた。留学後は、もっと英語を話せるようになりたいと思えるようになった。

留学前は不安な気持ちが大きくあまりモチベーションは上がりませんでした。留学中は他の大学からの学生や現地の人とコミュニケーションを取る中でもっと英語を話したいというモチベーションに変わり不安の気持ちより楽しい気持ちでした。留学後は、もっといろいろな国に留学をしたいと思うようになり英語ももっと勉強しようと感じています。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

現地の学生に、沢山話しかけたことです。私はあまり英語を話すことはできませんが、積極的に話しかけました。

三週間というとても短い限られた期間だったので、時間を無駄にしたくない思いから、全部の授業、アクティビティ、食事に一生懸命だった。例えば、授業では積極的に英語でコミュニケーションを取る、アクティビティ、食事を一回も飛ばさない、空いた時間があればキャンパス内のジムなどはもちろん、ダウンタウンやカフェを訪れて英語で注文する機会を増やすなど。

授業最後の週に行ったプレゼンテーションです。カナダの行ってみたい場所について1人5分程度で発表を行いました。英語でのプレゼンテーションは今まであまりしてこなかったため、原稿を読みすぎないようにすることとジェスチャーを交えて何度も練習を行いました。

時間を無駄にせずいろいろな経験をしたかったので、帰りのバンクーバーでのトランジットの際にバンクーバー観光を少ししました。不安要素はたくさんありましたが、慣れない土地での観光なので事前に空港内の移動方法を動画で確認したり電車の乗り方などできる準備をしたうえで観光できたことです。

週に1度あるプレゼンテーションです。1週目と2週目はグループでのプレゼンで、3週目は個人プレゼンでした。グループの人たちとコミュニケーションを取りながら、何を誰がどのように発表するかを話し合いました。本番はカンペをなるべく見ず、クラスメートの顔を見て発表することを頑張りました。最後の個人プレゼンではパワーポイントも作成し言葉だけでなく写真なども活用して全員が理解しやすいように工夫しました。

留学先大学の良かった点

楽しいプログラムを沢山用意してくれたこと。どのアクティビティも楽しかったです。

困ったときはどんな時でも助けてくれて、とてもおもてなしをしてくれた。とても素敵な大学で、リジャイナ大学を第一希望に選んで良かったと心から思います。

現地の学生も先生方もとても優しく接してくれました。英語が聞き取れず困っていたら、嫌な顔もせず理解できるように分かりやすく話してくれました。

大学内に寮があり、寮がある棟に教室もあったので授業が受けやすかった。ジムの無料で使うことができた。大学のカフェテリアのご飯が美味しかった。共有スペースがたくさんあるので、勉強がしやすい。